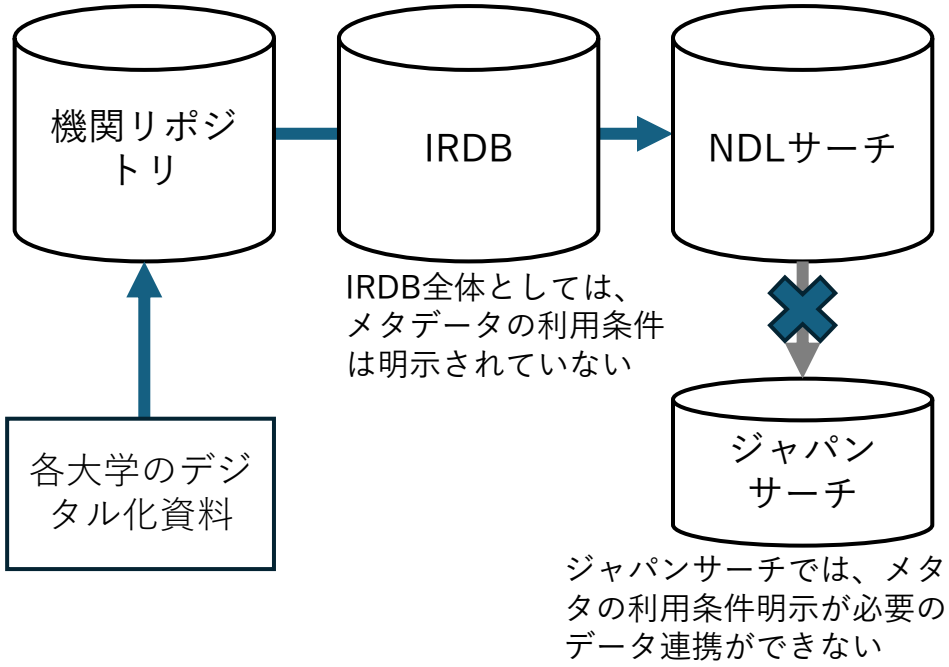
NDLサーチでのJPCOARスキーマver.2.0との連携開始

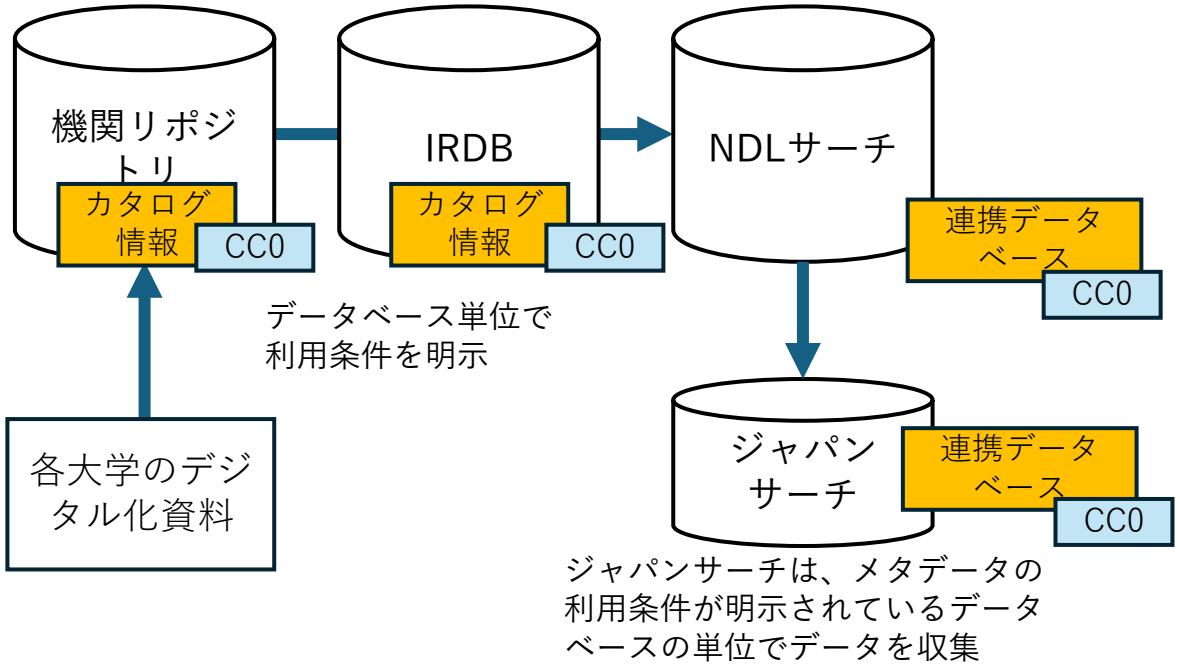
- IRDBを経由した各大学デジタルアーカイブとの連携が可能になります。

NDLサーチ改修前



NDLサーチ改修後

JPCOARスキーマver.2.0で追加された「カタログ情報」で、個別DBの情報を格納可能になった。



参考：メタデータ流通ガイドライン　共通編＞「3-2　メタデータ提供者」　https://ndlsearch.ndl.go.jp/guideline/main#3　など

JPCOARスキーマver.2.0について

JPCOARスキーマは、学術情報資源のメタデータ流通に用いられる規格。JPCOAR2.0改訂により、デジタルアーカイブの利活用可能なメタデータ流通に必要とされるメタデータ項目が新規に採用された。

また、デジタルアーカイブのメタデータ流通を鑑みて、アイテムの集合体としてのコレクション単位のメタデータ定義が導入された（次スライドへ）

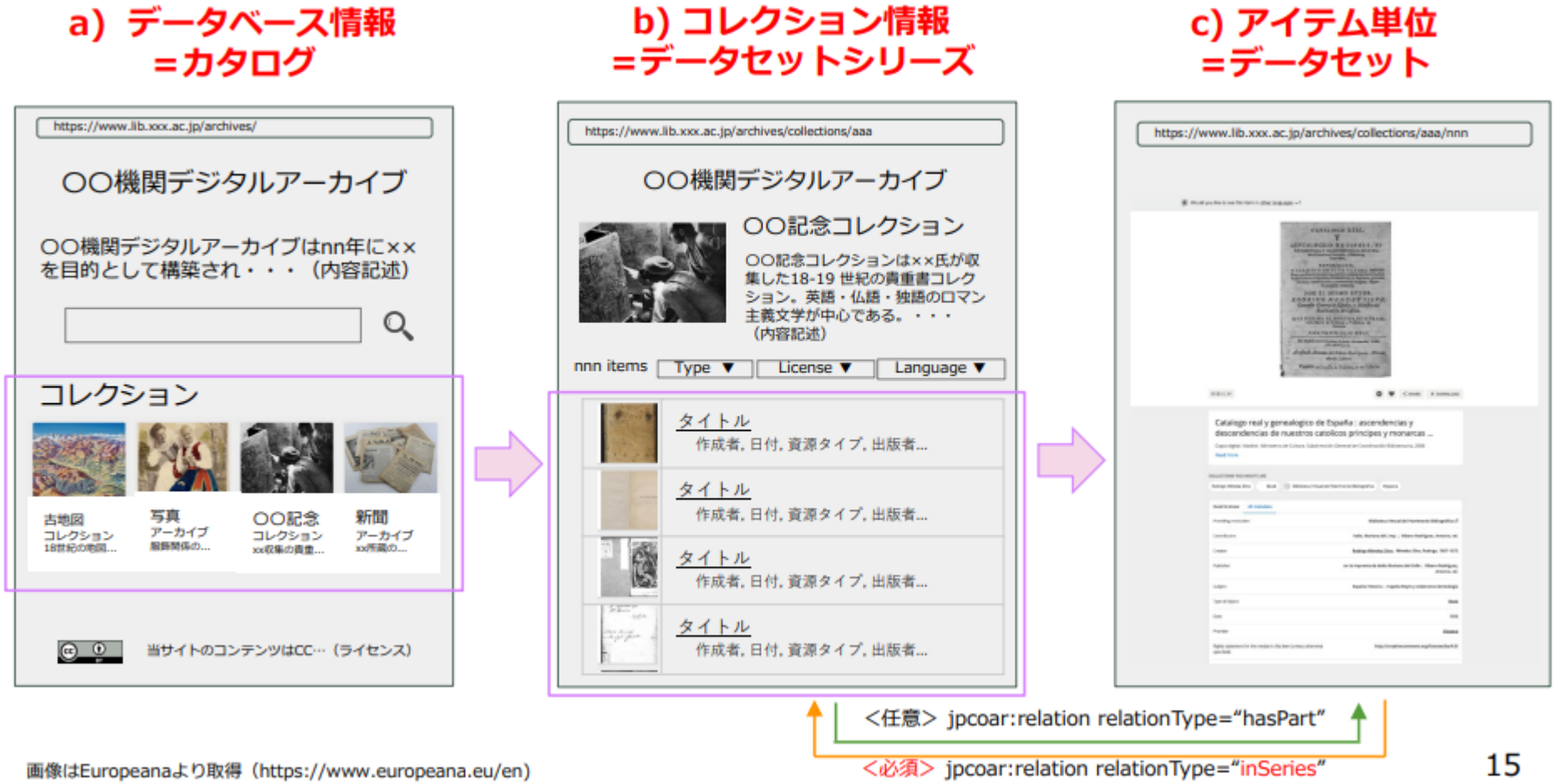
デジタルアーカイブに関する対応項目一覧

拡張項目	
ヨミ	ローマ字ヨミの記入に対応
作成者	役割表示の記入に対応
日付	W3CDTFの形式による記入、範囲指定による記入に対応
本文URL	IIIFマニフェストURIの記入に対応
タイトル、主題、権利情報、内容記述	コレクション情報のメタデータ入力に対応
新設項目	

・新設項目：
出版者注記、 出版地、 出版地（国コード）、 リテラルな日付、 版、 部編名、 原文の言語、
大きさ・容量等、 記録形式、 所蔵機関、 所蔵機関識別子、 所蔵機関名
・コレクション情報のメタデータ入力に対応する新設項目：
提供機関名、 識別子、 ライセンス、 代表画像

JPCOAR Newsletter: CoCOAR; 15号　2022-09-29公開　https://doi.org/10.34477/0002000218
「JPCOARスキーマVersion 2.0リリースに向けて」より

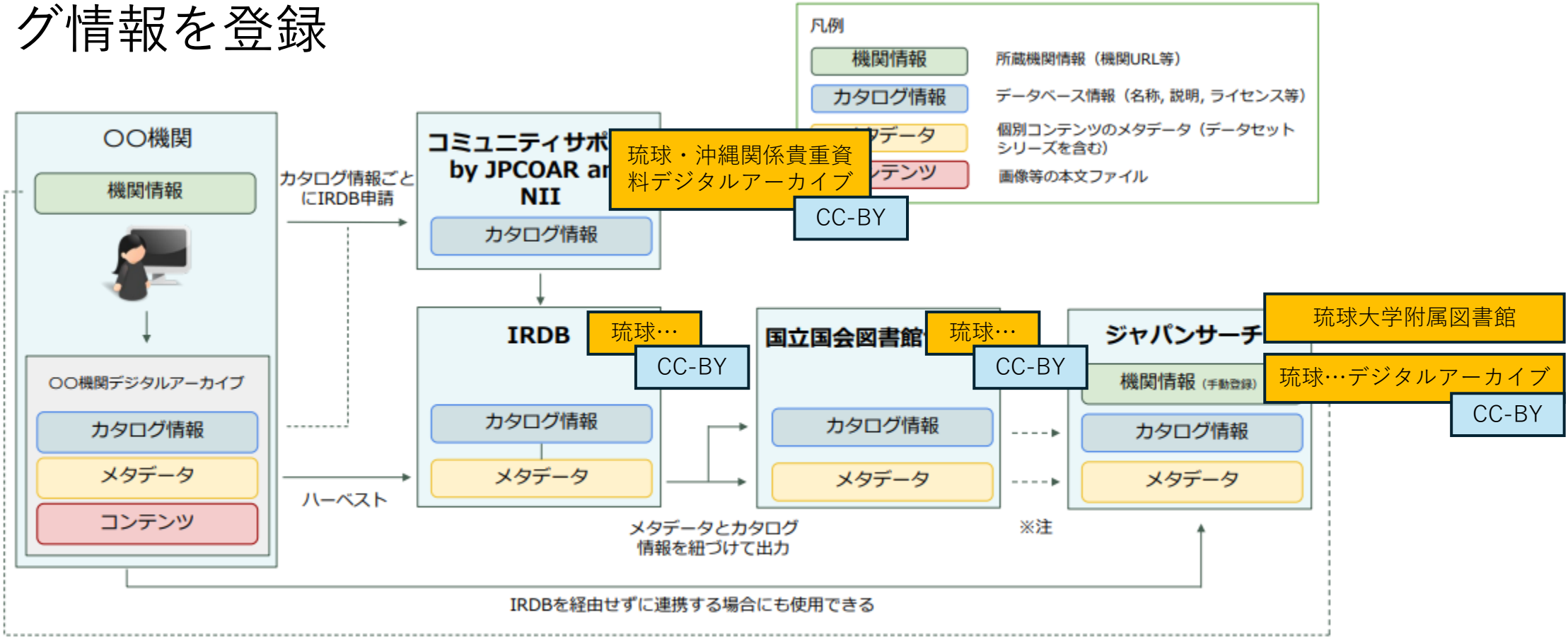
デジタルアーカイブの構造



JPCOARスキーマ改訂の背景と概要　https://doi.org/10.34477/0002000251

カタログ情報の流通

- 流通させたいデータベースの単位で
  カタログ情報を登録



注：
・ジャパンサーチの収録要件に合致しているもののみ連携される。
・収録要件に沿ったカタログ情報が登録できるよう、「コミュニティサポート by JPCOAR and NII」のマニュアルにて案内予定。
・NDLによる機能改修が必要となり、実装完了は2024年以降を予定。

17

登録後の表示イメージ（ジャパンサーチの場合）

連携データベース名
（IRDB経由前後で変更なし）

連携機関名
（IRDB経由前後で変更なし）

https://jpsearch.go.jp/database/uryukyu

カタログ情報登録時の留意点

- リポジトリIDがデータベースを識別するIDとなります。
  そのため、1つのリポジトリの単位内に複数のカタログ情報を登録することはできません。
  ※IRDBのOAI-PMHで出力されるsetspecをリポジトリIDとして利用します。
  そのため、IRDBに登録申請された機関リポジトリ単位でカタログ情報を登録できます。

- ジャパンサーチの連携要件にそったもののみが、連携されます。
  IRDBを経由してNDLサーチに格納されたデータベースが、ジャパンサーチの連携要件にそっているか確認したのち、連携を開始します。
- カタログ情報を登録いただいたものが、必ずしもすべてジャパンサーチ対象とはならない点、ご了承ください。
- ジャパンサーチの連携要件は以下をご覧ください。
  https://jpsearch.go.jp/cooperation

申請や許諾文書について

NDLサーチへの個別連携がある場合には、カタログ情報の登録前にあらかじめNDLサーチ担当にご連絡ください。

- 個別データベース→IRDB【事前申請あり】
  - カタログ情報の出力に未対応の場合は、事前の申請が必要です。
    https://support.irdb.nii.ac.jp/ja/application/irdb/irdb_catalog
- 個別データベース（→IRDB）→NDLサーチ【なし】
  - IRDB→NDLサーチ間の連携許諾に準ずるため、事前の申請や文書取り交わしは不要です。
- 個別データベース（→IRDB→NDLサーチ）→ジャパンサーチ【なし】
  - メタデータの利用条件が付されたもののみが対象となるため、事前の申請や文書取り交わしは不要です。
  - ただし、ギャラリー等、ジャパンサーチの機能の利用希望がある場合、NDLと許諾文書の取り交わしをさせていただきます。

連携メタデータの調整

- カタログ情報の連携のためには、JPCOARスキーマ2.0に対応いただく必要がございます。

- とはいえ、データ格納時の個別条件にも柔軟に対応します。
  基本的には、JPCOARスキーマ2.0の仕様にそってデータを出力いただきたいと思いますが、ご対応が難しいデータ項目があるなどの場合には、NDLサーチ側で各データベースに応じた条件をデータ格納時に付すことも、ある程度は可能です。ご相談しながら進めます。

※JPCOARスキーマ2.0等で表現できない項目の場合
導入句等により、できるだけ情報を識別できるようにデータを格納・出力することを検討します。